

提出 順番	No. 2	平成 27 年 11 月 20 日 (午前) 午後 11 時 50 分受領
----------	----------	--

平成 27 年 11 月 20 日

幕別町議会議員 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 小川 純文



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 「農業を核にした新たな可能性を開く産業」への取組について</p>	<p>町長は、先の選挙において5つの基本政策の1番目に「農業を核に新たな可能性を開く産業のまちづくり」を掲げ、農業の生産振興と高収益作物の作付奨励、循環型農業の推進、6次産業化や農商工連携による高付加価値型産業の創出などを政策の柱に位置付けられました。</p> <p>去る10月5日には、交渉開始から5年半を経て、環太平洋経済連携協定が、交渉参加の12か国の間で大筋合意に達しました。</p> <p>過日、その合意内容が公表されましたが、中でもTPPの大きな特徴である、関税の撤廃や削減などの市場アクセスの自由化は、農業基地・北海道の農業生産者に対しても大きな影響を及ぼすものであります。</p> <p>今、国を挙げての対策に向け、様々な機関においても対応策の検討が進められておりますが、今こそ、TPPを逆手に取り、孫子の代まで農業王国十勝として君臨しえるよう、安定的かつ継続的な農業経営の確立に向け、足腰を鍛え、その盤石な基盤を作り上げるときと考え、以下の点について伺います。</p> <p>① 市場拡大に対応した農業生産振興への取組について ② バイオガスプラントなど循環型農業の推進に向けた取組について ③ 6次産業化や農商工連携による特産品開発への取組について ④ 町と農協や物産協会などとの連携を基礎にした振興・発展への取組状況と一層の推進に向けた方策について</p>

2 「未来を担う人材の育成」に向けた取組について

町長の公約のキャッチフレーズ、「子どもたちの未来のために～子どもたちを育ててみたいと思えるまちづくり」には、私も含め多くの町民の方々が同じ思いや願いを抱き、期待を寄せているものと感じております。

私自身、我が子が小中学校に通学している頃にはPTA活動に携わっておりましたが、その際にも、義務教育とはいえ、教材費やPTA会費、部活動などの負担が決して小さくはないものと感じておりました。

そこで以下の点について伺います。

- ① 小中学校で保護者に負担を求めている教材費とPTA会費、小学校の少年団や中学校の部活動の保護者負担の実態について
- ② 全国・全道大会参加奨励金の実績について
- ③ 「未来を担う人材を育成するまちづくり」の実現に向けての今後の取組について